

第5問 (30点)

次の〔決算整理事項その他〕にもとづいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。会計期間は1年、決算日は12月31日である。

〔決算整理事項その他〕

1. 現金過不足のうち¥620は、受取手数料の記帳漏れによるものであることが判明した。しかし、残額については原因が不明であるので、適切に処理することにした。
2. 仮払金¥31,000は、従業員の出張に伴う旅費交通費の概算額を支払ったものである。従業員はすでに出張から戻り、実際の旅費交通費¥11,300を差し引いた残額は返金を受けてただちに当座預金に預け入れたが、この取引の記帳はまだ行っていなかった。
3. 受取手形と売掛金の期末残高総額に対して3%の貸倒れに見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法により行う。
4. 売買目的有価証券の決算日における時価は¥48,000である。
5. 商品の期末棚卸高は¥22,500である。売上原価は「仕入」の行で計算する。
6. 消耗品の未使用高は¥510である。
7. 建物（耐用年数は20年、残存価額は取得原価の10%）および備品（耐用年数は6年、残存価額は取得原価の10%）について、それぞれ定額法を用いて減価償却を行う。
8. 支払保険料のうち¥2,652は、当期の8月1日に保険に加入し、向こう1年分（12か月分）の保険料を一括して支払ったものである。
9. 借入金のうち¥84,000は、当期の4月1日に借入期間1年、利率年2%の条件で借り入れたものであり、借入に伴う利息は返済期日に元金とともに一括して支払うことになっている。